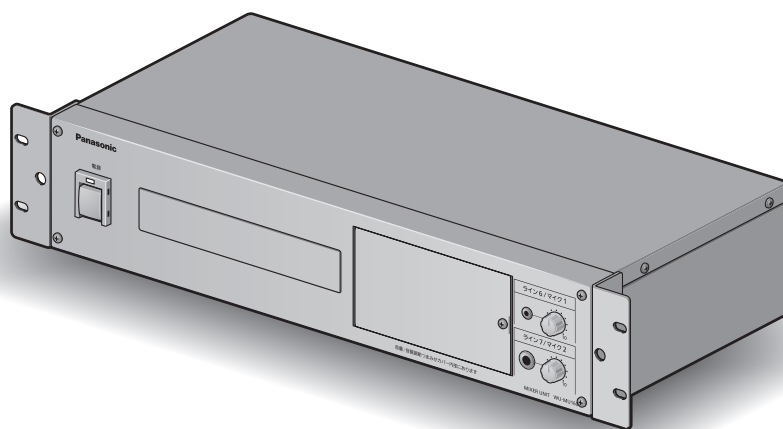


取扱説明書

工事説明付き

ミキサーユニット 業務用

品番： WU-MU160



保証書別添付

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(4~5ページ)を必ずお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

はじめに

商品概要

本機は、業務放送用にマイク、ライン、ラジオなどをミキシングするためのラックマウント専用装置です。

- 前面より各入力（ライン1-5）の音量調節ができます。
- ラジオチューナーユニット（WU-T60B：別売品）を組み込みます。
- BGMミュート機能により、ライン5に入力されたBGMなどの音声をマイク1/2（ライン6/7）の音声入力でもミュート可能です。
- マイク1/2（ライン6/7）は前面にも入力端子（複式ジャック）を設けています。
- 本機は、AC100 VおよびDC24 Vで運用できます。

付属品をご確認ください

取扱説明書（本書）	1冊	電源制御出力用ケーブル	1本
保証書	1式	ラックマウント用ねじ（M5×12 リブ付き）	4本
電源コード	1本	チューナー取付金具	2個
電源コードクランプ	1個	コーティングクリップ	1個

免責について

弊社はいかなる場合も以下に関して一切の責任を負わないものとします。


- ① 本商品に関連して直接または間接に発生した、偶発的、特殊、または結果的損害・被害
- ② お客様の誤使用や不注意による障害または本商品の破損など不便・損害・被害
- ③ お客様による本商品の分解、修理または改造が行われた場合、それに起因するかどうかにかかわらず、発生した一切の故障または不具合
- ④ 本商品の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、運用ができないことなどで被る不便・損害・被害
- ⑤ 第三者の機器などと組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害
- ⑥ 本商品の不良・不具合以外の事由（取付工事の不備、建屋側取付面の不良などを含む）による落下などによる不便・損害・被害

本機について

本機は子供が居る可能性がある場所での使用には適していません。

記号について


本書では、以下の記号を用いて説明しています。

 **重要** : 該当する機能を使用するにあたり、制限事項や注意事項が書かれています。

 : 使用上のヒントが書かれています。

本機に表示される記号は、以下の意味になります。

 : 直流電源

 : 交流電源

もくじ

はじめに

はじめに	2
商品概要	2
付属品をご確認ください	2
免責について	2
本機について	2
記号について	2
安全上のご注意	4
使用上のお願い	6
各部の名前とはたらき	7
前面	7
後面	8

設置・接続

設置のしかた	9
設置上のお願い	9
ラックへの取り付けかた	10
電源コードの取り付けかた	11
接続のしかた	12
音声入力端子（フォーンジャック）の接続	12
音声入出力端子（コネクター式端子台）の接続	13
ラック形非常用放送設備との接続	14
業務放送システムとの接続	15
緊急放送・業務放送用非常電源ユニットとの接続	16
ラジオチューナーユニットの組み込みかた	17
設定・調整のしかた	20
BGMミュート機能	20

その他

故障かな!?	21
仕様	22
保証とアフターサービス	23

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



警告



ねじやボルトは指定されたトルクで締め付ける
(落下によるけがや事故の原因となります。)

電源プラグは根元まで確実に差し込む

(差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。)

- 傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

異常があるときは、すぐ使用をやめる

(煙が出る、においがするなど、そのまま使用すると火災の原因となります。)

- 直ちに電源プラグを抜いて、販売店に連絡してください。



異物を入れない

(水や金属が内部に入ると、火災や感電の原因となります。)

- 直ちに電源プラグを抜いて、販売店に連絡してください。

電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない (傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねる など)

(傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因となります。)

- コードやプラグの修理は販売店に相談してください。

雷のときは工事、配線をしない

(火災や感電の原因となります。)

不安定な場所に置かない

(落下や転倒によるけがや事故の原因となります。)



ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

(感電の原因となります。)

ぬれ手禁止



機器の上や周囲に水などの入った容器を置かない

(水などが中に入った場合、火災や感電の原因となります。)

- 直ちに電源プラグを抜いて、販売店に連絡してください。

水ぬれ禁止



分解しない、改造しない

(火災や感電の原因となります。)

分解禁止

注意



工事は販売店に依頼する

(工事には技術と経験が必要です。けが、器物破損の原因となります。)

- 必ず販売店に依頼してください。

お手入れのときは電源を切る

(感電の原因となります。)



湿気やほこりの多い場所に設置しない

(けがの原因となります。)

禁止

使用上のお願い

「安全上のご注意」に記載されている内容とともに、以下の事項をお守りください。

本機は屋内専用です。

屋外での使用はできません。

長時間直射日光のあたるところや、冷・暖房機の近くには設置しないでください。変形・変色または故障・誤動作の原因になります。また、水滴または水沫のわからない状態で使用してください。

本機は業務用機器です。

付属の電源コードは本機専用です。

他の機器には使用しないでください。また、他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。

本機の電源スイッチでは本機単独の入／切はできません。

電源を遮断する場合は、コンセントから本機の電源プラグを抜いてください。

使用温度範囲は

0℃～45℃です。この温度範囲以外で使用すると、故障または誤動作の原因となります。

プラグやコネクターの抜き差しは

スピーカー破損の恐れがありますので、機器の電源スイッチを「切」にしてから行うかまたはボリュームを絞ってから行ってください。

お手入れについて

- 電源プラグをコンセントから抜き、乾いた柔らかい布でふいてください。
ほこりがとれにくいときは、水で薄めた台所用洗剤（中性）を柔らかい布にしみ込ませ、固く絞ってから軽くふいてください。そのあと、乾いた柔らかい布で洗剤成分を完全にふき取ってください。
- ベンジンやシンナーなど揮発性のものは使用しないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きにしたがってください。

長期間使用しない場合は

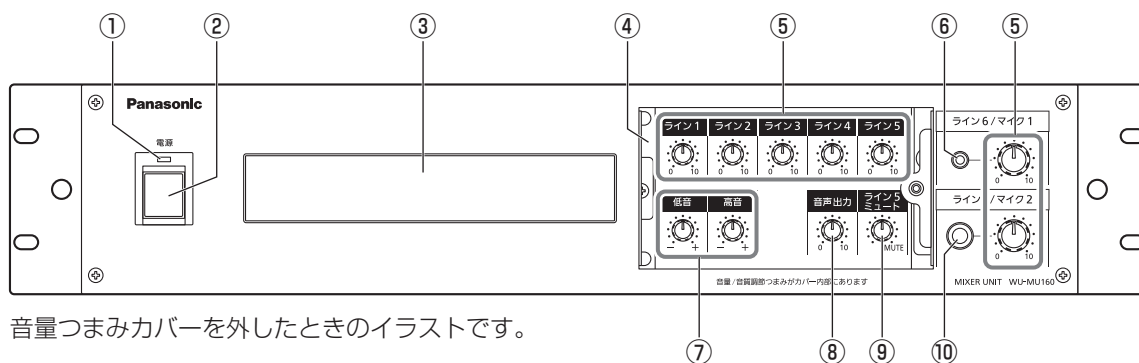
電源プラグをコンセントから抜いてください。

日常点検と保守点検のお願い

日常、定期的にスイッチやボタンのON/OFF、ボリューム、各種表示の確認を行ってください。何らかの不具合、異常があった場合、またはそのおそれがあった場合、直ちにお買い上げの販売店へご相談ください。保守点検は、年1回を目安に実施してください。詳細については、販売店にご相談ください。

各部の名前とはたらき

前面



① 電源表示灯【電源】

本機にAC100 VまたはDC24 Vが通電されると点灯します。

② 電源スイッチ【入/切】

後面の電源制御出力端子を利用してシステム全体の電源を制御するとき使用するスイッチです。スイッチを「入」にすると後面の電源制御出力端子からメイク信号が出力されます。

- 本機単独の入/切はできません。

③ ラジオチューナーユニット取り付け部

ラジオチューナーユニット（WU-T60B：別売品）を取り付けることができます。

④ 音量つまみカバー

ねじをゆるめてカバーを外すと、内部に音量、音質を調節するつまみがあります。通常は取り付けたままで使用ください。

⑤ 入力音量調節つまみ【ライン1～5】 【ライン6/マイク1】【ライン7/マイク2】

入力機器の音量を調節します。

⑥ ライン6/マイク1入力ジャック

ライン6/マイク1入力用ミニジャックです。（平衡）後面のライン6/マイク1入力ジャックと同時に接続された場合、前面の入力ジャックに接続された機器からの音声が優先されます。入力感度の切換は後面の入力感度切換スイッチで行います。

⑦ 音質調節つまみ【低音】【高音】

出力の音質を調節します。

⑧ 出力音量調節つまみ【音声出力】

音声出力（可変）から出力される音声の音量を調節します。



- 音声出力（固定）から出力される音声の音量は固定です。

⑨ ライン入力5ミュートレベル調節つまみ

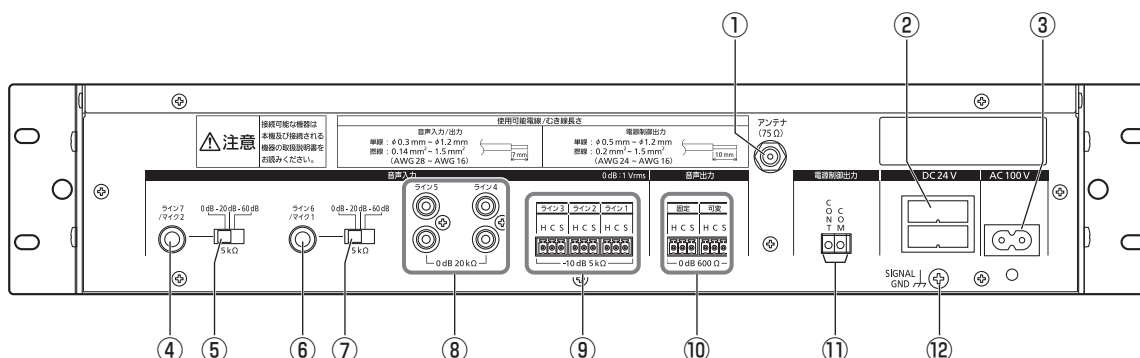
ライン6/マイク1入力およびライン7/マイク2入力に音声が入力された場合のライン入力5の音声の減衰量を調節します。

⑩ ライン7/マイク2入力ジャック

ライン7/マイク2入力用大型複式ジャックです。（平衡）後面のライン7/マイク2入力ジャックと同時に接続された場合、前面の入力ジャックに接続された機器からの音声が優先されます。入力感度の切換は後面の入力感度切換スイッチで行います。

各部の名前とはたらき

後面



① アンテナ入力コネクタ [アンテナ (75Ω)]

ラジオチューナーユニット (別売品) 組み込み時に、アンテナ線を接続します。AM/FM兼用であり、75 Ω型接栓コネクタに対応しています。

② DC端子 [DC24V]

停電時の緊急放送および業務放送で本機を使用する場合に、緊急放送・業務放送用の非常電源ユニットとDCケーブルで接続します。上下の端子は内部で並列に接続されています。

③ 電源入力端子 [AC100V]

付属の電源コードを接続します。電源コードのプラグは、電源制御ユニットACコンセントへ接続します。接続後は、電源コードクランプでコードを固定してください。(11ページ)

④ ライン7/マイク2入力ジャック [ライン7/マイク2]

ライン7/マイク2入力用大型複式ジャックです。(平衡)
前面のライン7/マイク2入力ジャックと同時に接続された場合、前面の入力ジャックに接続された機器からの音声が優先されます。

⑤ ライン7/マイク2入力感度切替スイッチ [0dB、-20dB、-60dB]

ライン7/マイク2入力の入力感度を設定します。

⑥ ライン6/マイク1入力ジャック [ライン6/マイク1]

ライン6/マイク1入力用大型複式ジャックです。(平衡)
前面のライン6/マイク1入力ジャックと同時に接続された場合、前面の入力ジャックに接続された機器からの音声が優先されます。

⑦ ライン6/マイク1入力感度切替スイッチ [0dB、-20dB、-60dB]

ライン6/マイク1入力の入力感度を設定します。

⑧ 音声入力ジャック [ライン4、5]

音声入力用のピンジャックです。(不平衡、0 dBV)
系統ごとにピンジャックが2個ありますが、内部でミキシングされてモノラルになります。

⑨ 音声入力端子 [ライン1~3]

音声入力用のコネクタ式端子台です。(平衡、-10 dBV)

⑩ 音声出力端子 [音声出力 可変、固定]

音声出力用のコネクタ式端子台です。(平衡、0 dBV)
本機でミキシングされた音声が出力されます。音声出力 (可変) は前面の出力音量調節つまみで音量調節が可能です。音声出力 (固定) は音量固定です。録音機器と接続する場合は、本端子と接続してください。

⑪ 電源制御出力端子 [電源制御出力]

前面の電源スイッチと連動して、メイク信号を出力します。

⑫ シグナルグランド端子 [SIGNAL GND]

ほかの機器と電位差をなくすために必要に応じて各機器のSIGNAL GNDと接続します。

設置のしかた

設置上のお願い



警告

- 工事は必ず販売店に依頼してください。
- 「安全上のご注意」をよく読んでその指示にしたがってください。接続する機器の取扱説明書も必ずお読みください。
- 本装置を住宅環境で使用すると無線障害を引き起こす可能性があります。

設置工事は電気設備技術基準にしたがって実施してください。

本機は屋内専用です。

屋外での使用はできません。

長時間直射日光のあたるところや、冷・暖房機の近くには設置しないでください。変形・変色または故障・誤動作の原因になります。また、水滴または水沫のわからない状態で使用してください。

工事は電源を入れないで行ってください。

工事は、本機の電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。また本機に接続されているミキサーやアンプなどの電源も切ってから行ってください。接続時にスピーカーから大きなノイズが出て、機器の破損につながります。

設置場所について

水平な場所へ設置してください。後面を下にして立てないでください。

以下の場所には設置しないでください。

- 直射日光のあたる場所や温風吹き出し口の近く
- 湿気やほこり、振動の多い場所
- 結露しやすい場所、温度差の激しい場所、水気（湿度）の多い場所
- ちゅう房など蒸気や油分の多い場所
- スピーカーやテレビ、磁石など、強い磁力を発生するものの近く
- 傾斜のある場所
- 塩害や腐食性ガスが発生する場所
- 本機、ケーブルなどが容易に破壊されるような場所

使用電源は

電源電圧はAC100 V（50 Hz／60 Hz）です。十分な容量のある電源に接続してください。

ラックに取り付けるときは

- 本機をラックに取り付ける場合は、必ず「ラックへの取り付けかた」（10ページ）記載のものをご使用ください。
- ラック内の温度が45℃を超えないようにしてください。内部の部品に悪影響を与え、故障の原因となります。

電源について

本機の電源スイッチでは本機単独の入／切はできません。本機を電源から遮断するときは電源プラグを抜いてください。容易に電源を遮断できるように、電源コードは、必ず遮断装置を介した次のいずれかの方法で接続してください。

- 電源コンセントやブレーカーの近くに設置し、電源プラグを介して接続する。
- 3.0 mm以上の接点距離を有する分電盤のブレーカーに接続する。ブレーカーは、保護アース導体を除く電源のすべての極が遮断できるものを使用すること。

表示について

本機の識別および電源、その他の表示は機器後面をご覧ください。

静電気について

静電気による損傷を防止するために、設置工事の前に、アースの取れた金属製のものに触れて身体に帯電した静電気を放電してください。

ねじの締め付けについて

- ねじは指定の締付トルクに従い、まっすぐ締めてください。締めたあとは、目視にて、がたつきがなく、しっかりと締められていることを確認してください。
- インパクトドライバーや電動ドライバーは、クラッチ付のものであってもトルク管理が困難なため、使用すると取り付け部の破損の原因になりますので、使用しないでください。

強い衝撃を与えない

本機に強い衝撃を与えないでください。本機が破損するおそれがあります。

ラックへの取り付けかた

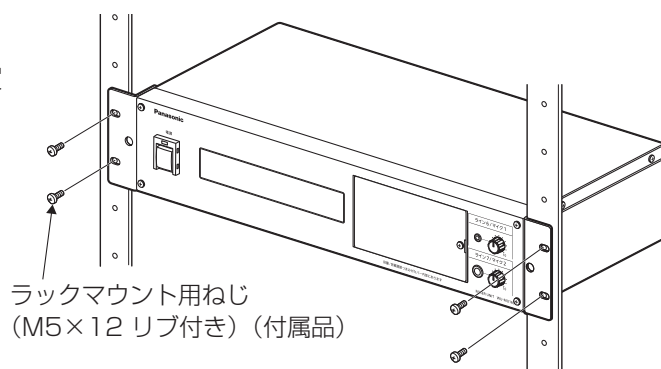
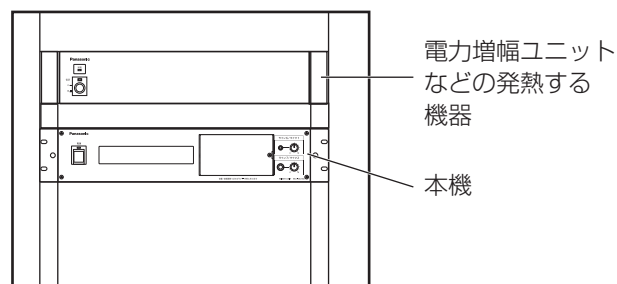
本機を取り付けるラック（別売品）は、次のいずれかを使用してください。

- スタンダードラック
 - ：WU-RS80 収納ユニット数29U（当社製）
※従来品のWU-RS71もお使いいただけます。
- ロングラック
 - ：WU-RL85 収納ユニット数41U（当社製）
※従来品のWU-RL76もお使いいただけます。
- EIA規格相当品
 - ：EIA19型、奥行き450 mm以上のもの

本機をラックに取り付けるときは、付属のラックマウント用ねじ（M5×12 リブ付き）4本で、確実に固定します。

ラックマウント用ねじ（M5×12 リブ付き）の締付トルクは、 $2\text{ N}\cdot\text{m}\sim 2.4\text{ N}\cdot\text{m}$ { $20.5\text{ kgf}\cdot\text{cm}\sim 24.5\text{ kgf}\cdot\text{cm}$ } です。

ラック取り付け例



重要

- 本機は電力増幅ユニットなどの発熱する機器よりも下に設置し、1U分以上の間隔を空けてください。
- ラック内の温度は45℃以上にならないようにしてください。
- 振動の多い場所に設置しないでください。
- 本機は発熱量の多い機器（電力増幅ユニットやパワーアンプなど）の近くに設置しないでください。やむをえず、近くに設置する場合は、上下に1U（44 mm）以上の間隔を空けてください。
- 熱に弱い機器を同じラックに取り付けるときは、本機より下側に取り付けてください。
- ラックは通気性の良い場所に設置してください。ラック内に熱がこもるときはラック内の温度が45℃以上にならないように換気対策を行ってください。

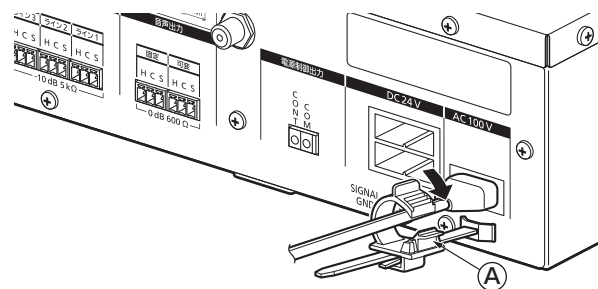


- 他社製ラックに取り付ける場合は、付属のラックマウント用ねじ（M5×12 リブ付き）4本または取り付けを行うラック側で指定のねじを用意してください。

電源コードの取り付けかた

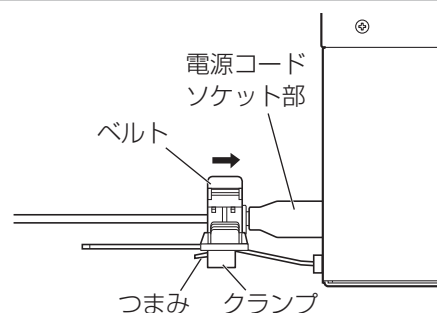
本機後面の電源入力端子 [AC100V] に付属の電源コードを挿し込み、電源コードクランプで束線してください。

右図のように矢印の方向に電源コードをはさみ込み、Ⓐ部で束線してください。



● 電源コードのクランプのしかた

- (1) 電源コードをクランプで押さえます。電源コードクランプのベルトを最後まで締めます。
- (2) 電源コードクランプの「クランプ」を図の矢印の方向にスライドさせて、電源コードのソケット部をしっかりと固定します。
- (3) 電源コードクランプを外すときは、図のクランプ部のつまみを操作して外してください。



接続のしかた

音声入力端子（フォンジャック）の接続

音声入力端子としてミニジャック（ライン6／マイク1）、大型複式ジャック（ライン7／マイク2）が前面に、大型複式ジャック（ライン6／マイク1、ライン7／マイク2）が後面に装備されています。入力機器側の出力形式に応じて、以下の「接続方法」表にしたがった正しい接続をしてください。

■ 接続方法

本機側	接続（結線）方法	プラグの形式	マイク／ライン機器の出力形式
<p>HOT(チップ) COLD(リング) GND(スリーブ)</p>		2極フォンプラグ	バランス型
		3極フォンプラグ	
		2極フォンプラグ	アンバランス型
		3極フォンプラグ	

音声入出力端子（コネクター式端子台）の接続

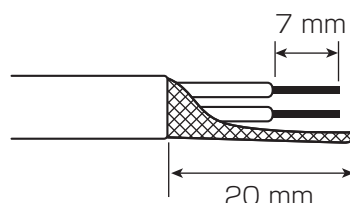
音声入力（ライン1～3）、音声出力端子（音声出力 可変、固定）としてコネクター式端子台を装備しています。

2芯シールド線で接続します。

接続には下記のケーブルを使用してください。

単線 : $\phi 0.3 \text{ mm} \sim \phi 1.2 \text{ mm}$

より線 : $0.14 \text{ mm}^2 \text{ (AWG28)} \sim 1.5 \text{ mm}^2 \text{ (AWG16)}$



※より線ははんだ仕上げ禁止。

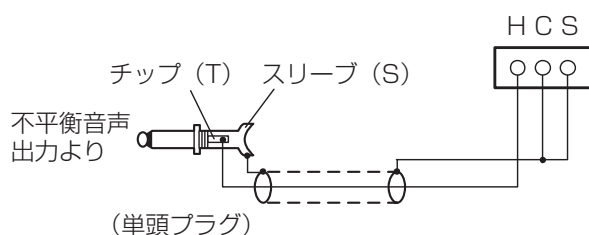
ケーブルの先端7 mmの被覆をむきます。



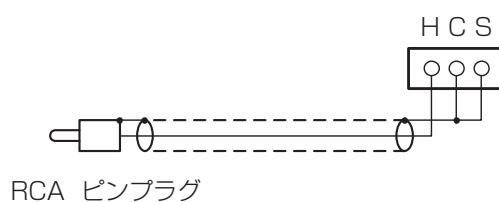
- より線、シールド線を使用するときは、むきしろ部分に半田めっきをしないでください。経年変化などで接触不良が発生する可能性があります。
- シールド線を使う場合、シールドから芯線が露出している部分が長いと、外来ノイズを受けやすくなります。上記のむきしろの長さを目安として作業してください。



- 不平衡音声出力の機器と接続するときは、図のように配線してください。



※ 単頭プラグスリーブのシールド線をSに接続し、C (COLD) とS (GND) を接続します。



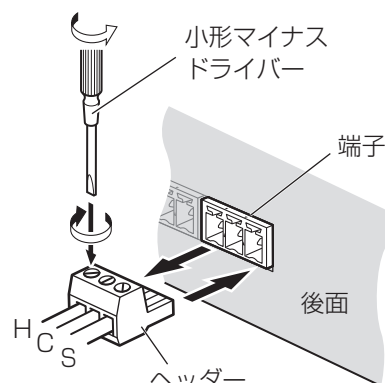
※ ピンプラグからシールド線とSを接続し、C (COLD) とS (GND) を接続します。

■ 接続手順



- 本機後面の各音声入力端子、音声出力端子には、工場出荷時点でコネクター式端子台ヘッダー（以下、ヘッダーと表記します）が取り付けられています。

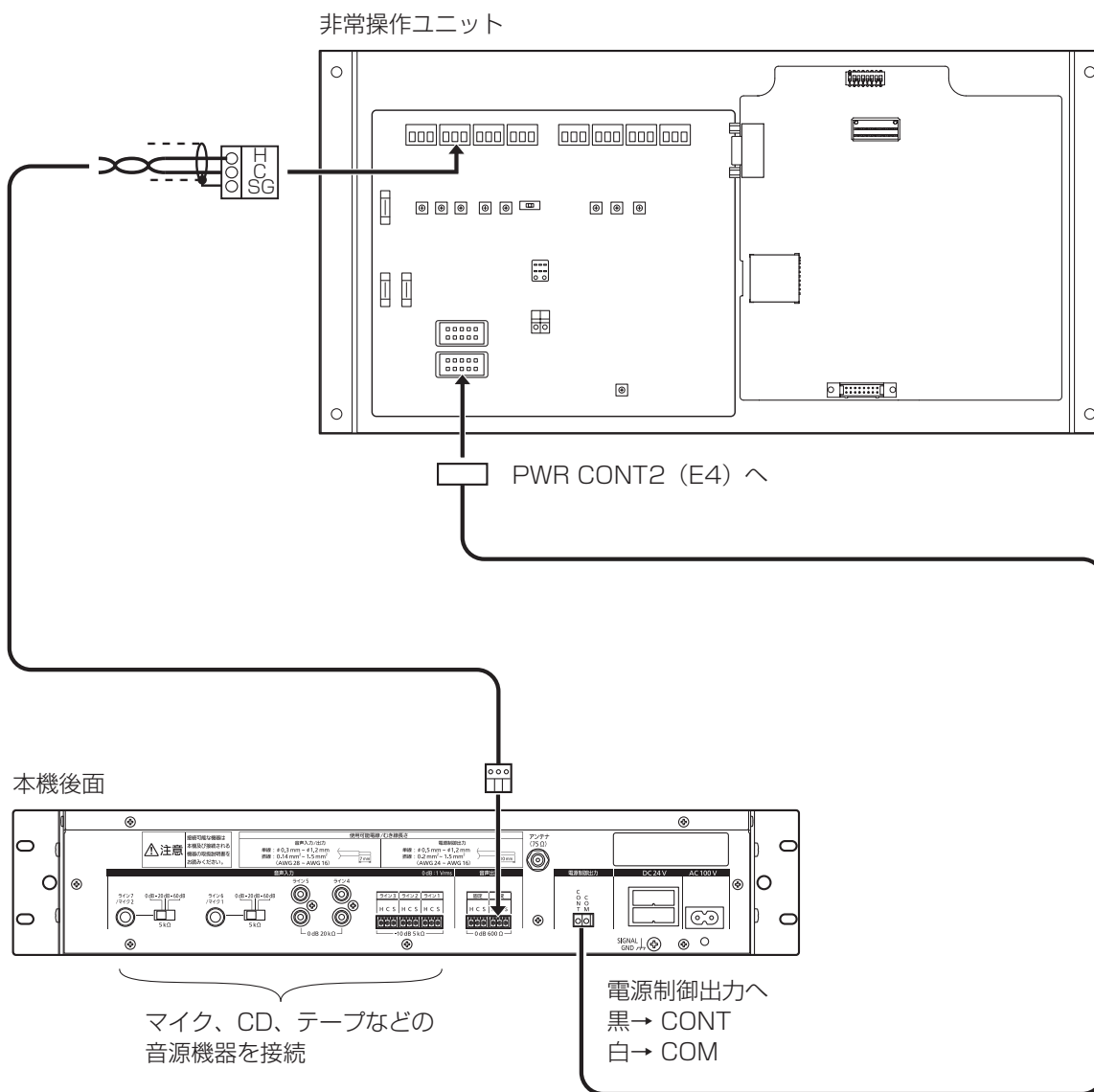
1. 各端子からヘッダーを取り外す
2. 外したヘッダーのねじをゆるめて、ケーブル挿し込み口を閉じている金具を広げ、先端を加工した線を挿し込む
 - ケーブルの導体部が出ないように挿し込みます。
3. ゆるめたねじを締めて、線が抜けないことを確認する
ねじの締付トルク : $0.22 \text{ N} \cdot \text{m} \sim 0.25 \text{ N} \cdot \text{m}$
{ $2.2 \text{ kgf} \cdot \text{cm} \sim 2.5 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ }
 - ドライバーは刃先幅が2.5 mmのマイナスドライバーを使用します。
4. 線を接続したヘッダーをそれぞれの端子に挿し込む



ラック形非常用放送設備との接続

本機をラック形非常用放送設備（WL-8000Aシリーズ：別売品）に組み込むことで、音声入力機能の拡張ができます。

- 本機からの音声出力を、非常操作ユニットのライン1／ミキサー入力に接続します。
- 本機に付属の電源制御出力用ケーブルを使用し、本機の電源制御出力を非常操作ユニットのPWR CONT2 (E4) へ接続します。

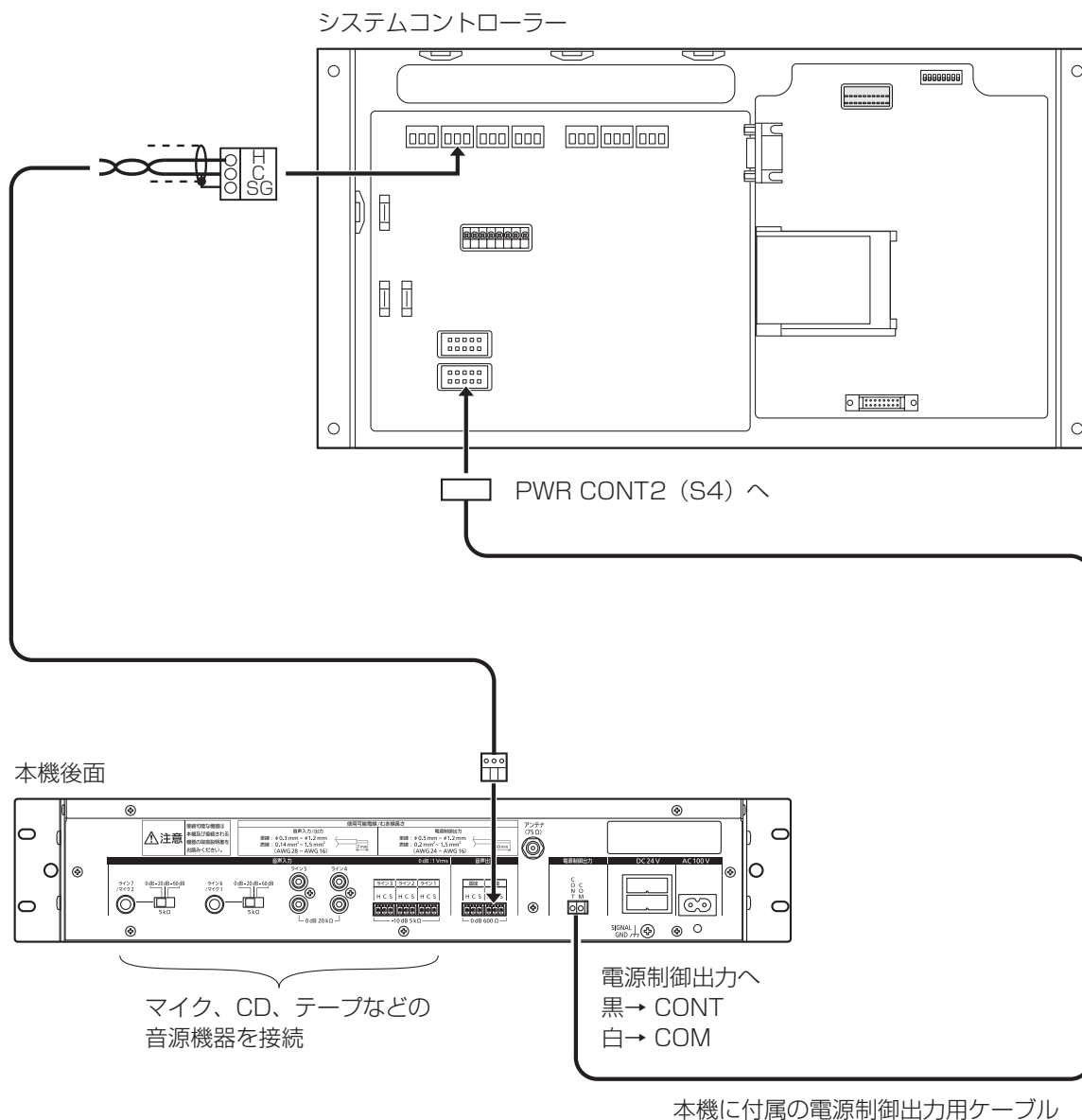


本機に付属の電源制御出力用ケーブル

業務放送システムとの接続

本機を業務放送システム（WL-K600：別売品）に組み込むことで、音声入力機能の拡張ができます。

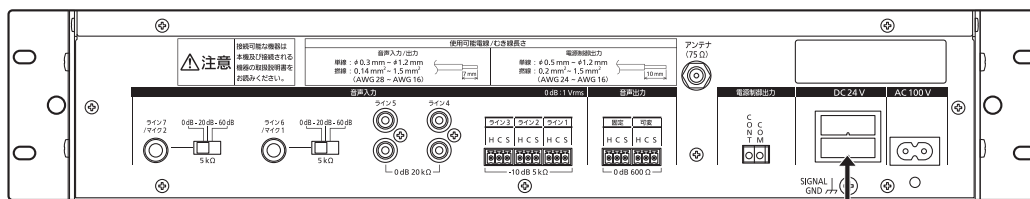
- 本機からの音声出力を、システムコントローラーのライン1／ミキサー入力に接続します。
- 本機に付属の電源制御出力ケーブルを使用し、本機の電源制御出力をシステムコントローラーのPWR CONT2（S4）へ接続します。



緊急放送・業務放送用非常電源ユニットとの接続

停電時の緊急放送および業務放送で本機を使用する場合は、本機と緊急放送・業務放送用の非常電源ユニット (WP-570B：別売品) と接続します。

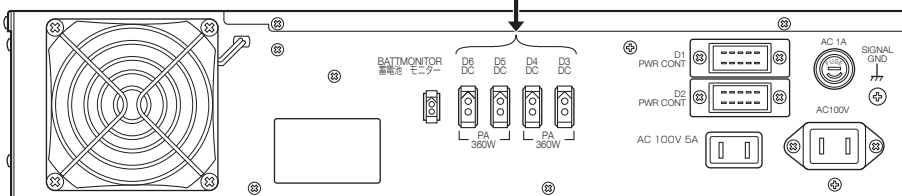
本機後面



DC端子
上下いずれか

電力増幅ユニット (WU-PD122、WU-PD182)
で使用する DC ケーブルと同じ DC ケーブル
(K1PY02Y00091)

緊急放送・業務放送用
非常電源ユニット WP-570B後面



D3～D6のいずれか

ラジオチューナーユニットの組み込みかた

本機はラジオチューナーユニット（WU-T60B：別売品）を組み込んで使用できます。

⚠ 注意



工事は販売店に依頼する

（工事には技術と経験が必要です。けが、器物破損の原因となります。）

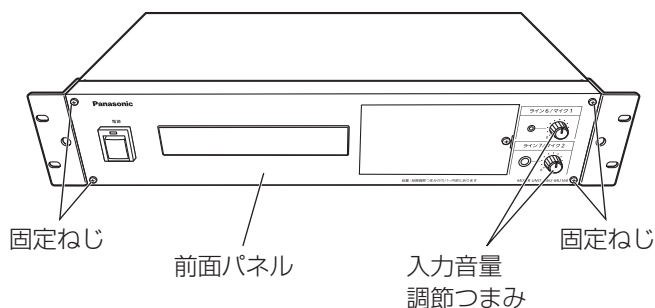
- 必ず販売店に依頼してください。

チューナーユニットを取り付けるときは電源を切る

（感電の原因となります。）

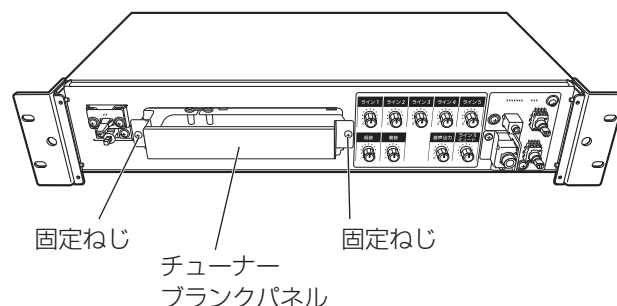
1 前面パネルを取り外す

入力音量調節つまみ2個を取り外したあと、固定ねじ4本を外して、前面パネルを取り外します。



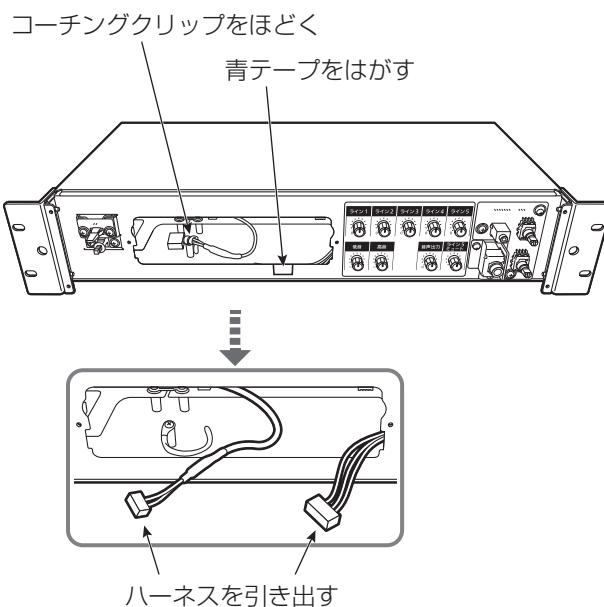
2 チューナーblankパネルを取り外す

固定ねじ2本を外して、チューナーblankパネルを取り外します。



3 ハーネスを引き出す

- 2本のハーネスがコーティングクリップおよび青テープで本機内部に固定されています。
- コーティングクリップをほどこ、ハーネスを取り出します。
ほどこいたコーティングクリップは、あとから取り付けるラジオチューナーユニットと接触しないように本機の底面側に折り曲げます。
- 青テープをはがして、ハーネスを引き出します。

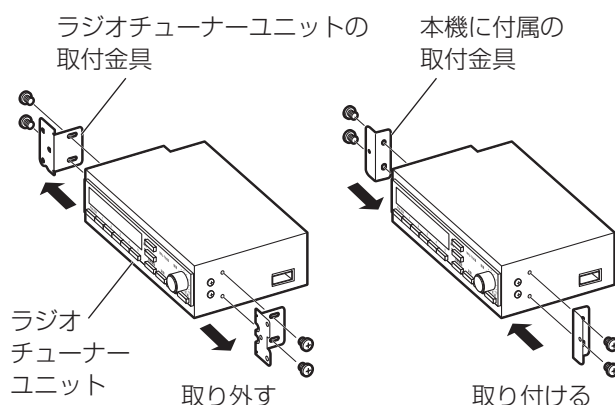


接続のしかた

4 ラジオチューナーユニットに取付金具を取り付ける

ラジオチューナーユニットの取付金具を外し、外したねじで本機に付属の取付金具を取り付けます。

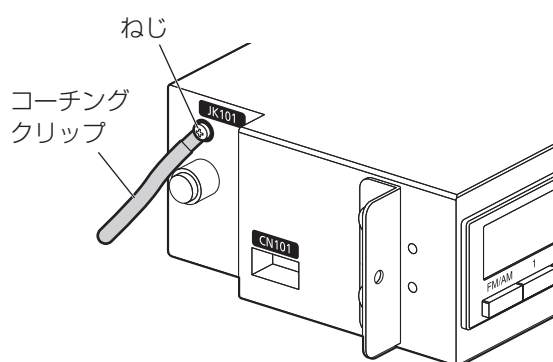
- ねじの締付トルク
: 1.0 N・m~1.2 N・m
{10 kgf・cm~12 kgf・cm}



5 ラジオチューナーユニットにコーチングクリップを取り付ける

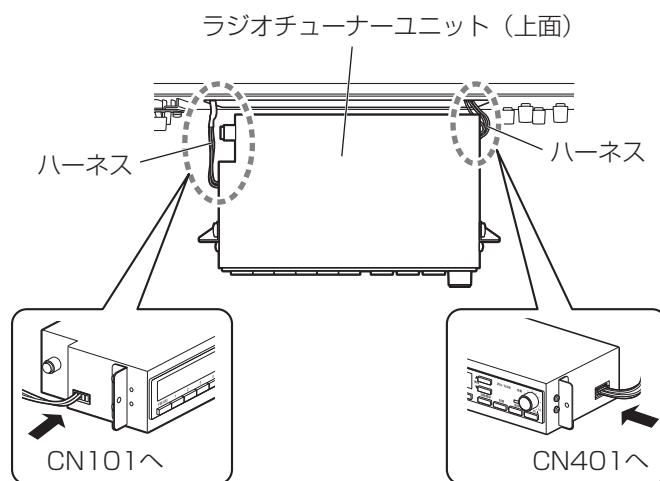
右図のねじを一度外し、本機に付属のコーチングクリップを取り付けます。

- ねじの締付トルク
: 0.69 N・m~0.88 N・m
{7.0 kgf・cm~9.0 kgf・cm}



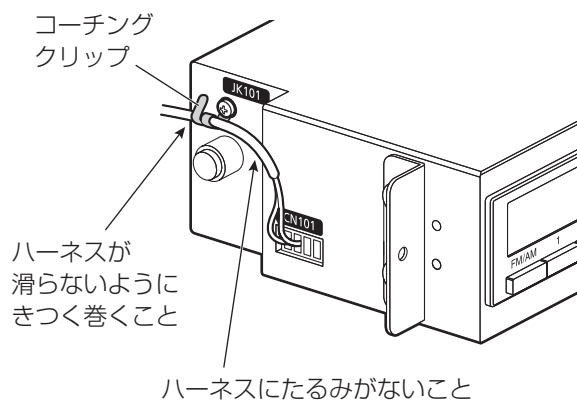
6 ラジオチューナーユニットにハーネスを接続する

ハーネスを接続し、コネクタが根元まで入っていることを確認します。



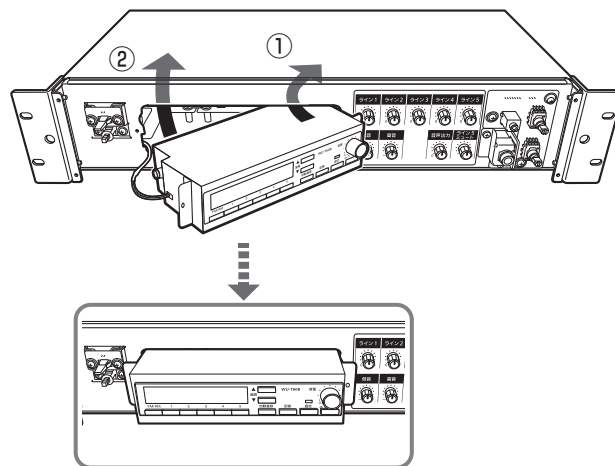
7 ハーネスを固定する

- コーチングクリップをハーネスに巻いて固定します。ハーネスが滑らないように、きつく巻いてください。
- コネクタが根元まで入っていることを確認します。



8 ラジオチューナーユニットを挿入する

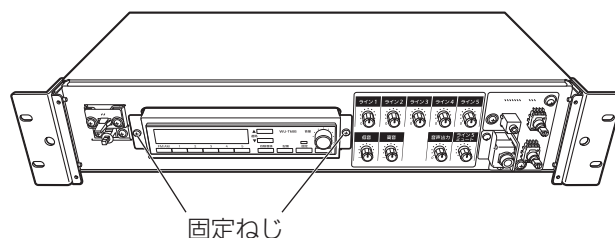
- 図のように、右側から先に入れてください。
- ハーネスを噛み込まないように注意してください。



9 ラジオチューナーユニットを固定する

手順2で取り外した固定ねじ2本を使ってラジオチューナーユニットを固定します。

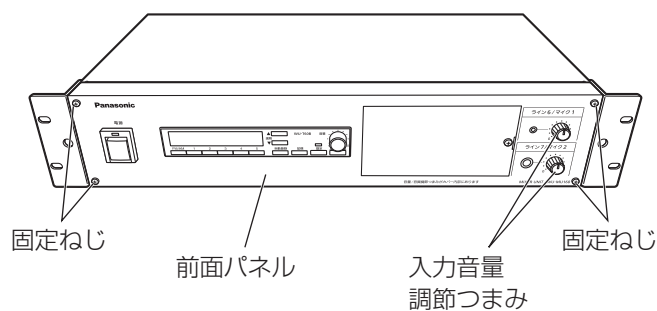
- ねじの締付トルク
 : 0.69 N・m～0.88 N・m
 {7.0 kgf・cm～9.0 kgf・cm}



10 前面パネルと入力音量調節つまみを元に戻す

手順1で取り外した固定ねじで前面パネルを取り付け、入力音量調節つまみを元どおり差し込みます。

- ねじの締付トルク
 : 0.69 N・m～0.88 N・m
 {7.0 kgf・cm～9.0 kgf・cm}

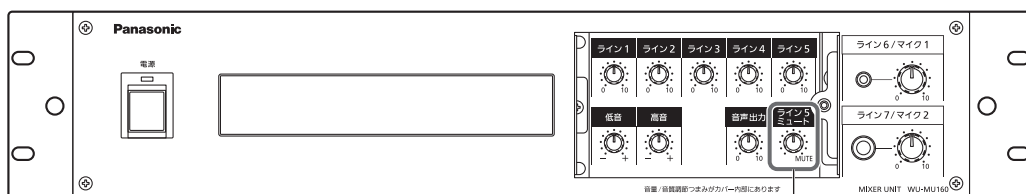


設定・調整のしかた

BGMミュート機能

ライン5に入力されたBGMなどの音声をマイク1/2（ライン6/7）の音声入力でミュートする機能です。ミュート動作時のライン5の音声の減衰量は、前面の音量つまみカバー内のライン入力5ミュートレベル調節つまみで調節します。左に回すと減衰量が減少（ライン5の音声が大きくなる）、右に回すと減衰量が増加（ライン5の音声が小さくなる）します。

本機前面

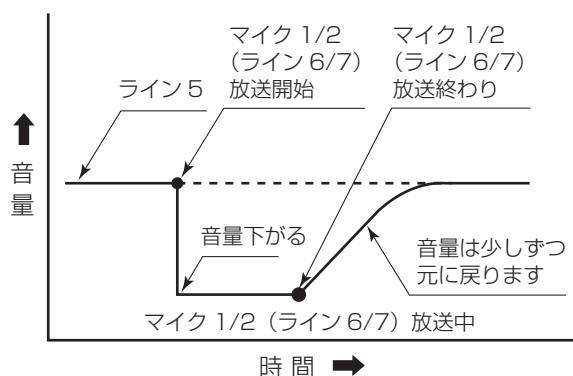


音量つまみカバーを外したときのイラストです。

ライン入力5ミュートレベル
調節つまみ



- ライン5の音声はマイク1/2（ライン6/7）の音声入力が始まるとミュートされ、マイク1/2（ライン6/7）の音声入力が停止されると徐々に元の音量に戻ります。



故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で現象を確かめてください。

これらの対策をしても直らないときやわからないとき、この表以外の現象が起きたときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

現象	原因・対策	参照ページ
電源表示灯が点灯しない	● 電源プラグがACコンセントに確実に接続されていますか？ → 電源コードを正しく接続してください。	—
	● 付属の電源コードが、本機に確実に差し込まれていますか？ → 差し込まれているか、確認してください。 コードの抜け防止に、電源コードクランプを使用することをおすすめします。	8、11

仕様

電源	AC100 V 50 Hz/60 Hz DC24 V				
消費電力	AC100 V 3 W DC24 V 100 mA以下				
音声入力	入力回路	入力レベル	入力インピーダンス	端子形状	S/N
	ライン1	-10 dBV	5 k Ω 平衡	コネクター式端子台	65 dB
	ライン2	-10 dBV	5 k Ω 平衡	コネクター式端子台	65 dB
	ライン3	-10 dBV	5 k Ω 平衡	コネクター式端子台	65 dB
	ライン4	0 dBV	20 k Ω 不平衡	ピンジャック	65 dB
	ライン5	0 dBV	20 k Ω 不平衡	ピンジャック	65 dB
	ライン6/ マイク1	0 dBV/ -20 dBV/ -60 dBV切換	5 k Ω 平衡	前面：複式ミニジャック 後面：大型複式ジャック	55 dB
	ライン7/ マイク2	0 dBV/ -20 dBV/ -60 dBV切換	5 k Ω 平衡	前面：大型複式ジャック 後面：大型複式ジャック	55 dB
※前面の端子への入力信号が優先になります。					
音声入力切替	ライン6/マイク1 ライン7/マイク2	3段階スライドスイッチ 3段階スライドスイッチ			
音声出力	出力回路	出力レベル	出力インピーダンス	端子形状	
	可変	0 dBV max. (前面VRで調節)	600 Ω 平衡	コネクター式端子台	
	固定	0 dBV	600 Ω 平衡	コネクター式端子台	
周波数特性	50 Hz~20 kHz				
歪率	0.1 %以下				
音質調整	低音	100 Hz \pm 10 dB			
	高音	10 kHz \pm 10 dB			
制御出力	電源制御出力	スイッチ接点	制御電圧35 V	制御電流100 mA	
その他機能	BGMミュート ライン5入力をマイク1/2 (ライン6/7) 入力でミュートする機能 (ミュート量調節可)				
使用温度範囲	0 $^{\circ}$ C ~ 45 $^{\circ}$ C				
使用湿度範囲	20 % ~ 90 % (結露なきこと)				
寸法	480 mm (幅) \times 88 mm (高さ) \times 200 mm (奥行き) (つまみ、端子台除く)				
質量	約3.5 kg				
仕上げ	パネル：AVライトグレー塗装 (マンセルN8近似色) (日塗工CN-80近似色)				
オプション(別売)	ラジオチューナーユニット (WU-T60B)				

保証とアフターサービス

よくお読みください

使いかた・お手入れ・修理などは

■まず、お買い求め先へご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名	
電話	() -
お買い上げ日	年 月 日

修理を依頼されるときは

「故障かな!？」(21ページ)でご確認のあと、直らないときは、まず本機の電源を切って、お買い上げ日と右の内容をご連絡ください。

●製品名	ミキサーユニット
●品番	WU-MU160
●故障の状況	できるだけ具体的に

●保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用
部品代	部品および補助材料代
出張料	技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間 **7年**

当社は、本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後7年保有しています。

アフターサービスについて、おわかりにならないとき

お買い上げの販売店または保証書表面に記載されています連絡先へお問い合わせください。

長期間使用に関するお願い

安全にお使いいただくために、販売店または施工業者による定期的な点検をお願いします。

本機を長年お使いの場合、外観上は異常がなくても、使用環境によっては部品が劣化している可能性があり、故障したり、事故につながることもあります。

下記のような状態ではないか、日常的に確認してください。

特に10年を超えてお使いの場合は、定期的な点検回数を増やすとともに買い換えの検討をお願いします。

詳しくは、販売店または施工業者に相談してください。

このような状態ではありませんか？

- 煙が出たり、こげくさいにおいや異常な音がする。
- 電源コード・電源プラグが異常に熱い。または割れやキズがある。
- 製品に触るとビリビリと電気を感じる。
- 電源を入れても、音が出てこない。
- その他の異常・故障がある。

直ちに使用を中止してください


故障や事故防止のため、電源を切り、必ず販売店または施工業者に点検や撤去を依頼してください。

取扱説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

■使いかた・お手入れ・修理などは、まず、お買い求め先へご相談ください。

■その他ご不明な点は下記へご相談ください。

システムお客様ご相談センター

電話 フリーダイヤル  **0120-878-410** バ ナ ハ ヨ イ フ 受付：9時～17時30分（土・日・祝祭日は受付のみ）
※携帯電話からもご利用になれます。

ホームページからのお問い合わせは https://connect.panasonic.com/jp-ja/support_cs-contact

ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック コネクト株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくための発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

パナソニック コネクト株式会社

〒812-8531 福岡県福岡市博多区美野島四丁目1番62号